

市民カメラマンフォトポ

今号は、市民カメラマンの横山正弘さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんの写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



7/18 親子で楽しもう！真夏の虫とり体験

少年自然の家で行われた虫とり体験に、20 家族が参加しました。初めにクラフト室に集まり、職員から虫とりの方法や注意事項を聞きました。

その後、家族ごとに外に出て、虫取り網や虫かごを持ち、1 時間あまり虫とりをしました。木の幹や、落ち葉の下、草むらなど家族で虫を探してまわりました。カブトムシやクワガタムシ、バッタ、トンボ、チョウなど、たくさんの昆虫を見つけることができました。

6/19 フレイルチェック大会を開催

フレイル予防を啓発し、市内高齢者に自身の健康状態を確認してもらうため、フレイルチェック大会を開催。握力や、片足立ち上がりなどの測定、記述式チェックなどを行いました。

参加した石樽和恵さんは「毎朝ラジオ体操をするなど、健康を意識しています。筋力を維持できていることが分かって安心しました」と、自身の生活を振り返りました。



6/28 災害対策本部訓練を実施

災害時に対策本部を設置する市役所の会議室で、災害対策本部訓練を実施。市民などからの問い合わせや情報提供を模擬し、電話対応やシステムへの入力などを行いました。

参加した職員は、「電話対応を行い、実際に来る問い合わせをイメージできました。災害に備え、担当業務などを改めて見直します」と、気を引き締めました。

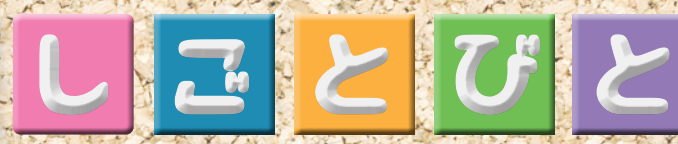
7/7 那加中央保育所で、七夕イベントを開催

市内の保育所で、7 月 7 日の「七夕」にちなんだイベントを開催。那加中央保育所では、園児が七夕のペープサートを楽しみ、織姫と彦星の格好をした職員からプレゼントのお菓子を受け取りました。

年長の林芙美花さんは「みんなで歌って、楽しかったです。空を飛べるように羽が欲しいです」と、笑顔を見せました。



各務原



各務原で働く「しごとびと」を紹介します。移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。



Q どんな仕事をしているの？

家や公園など、お客さんが希望した場所に伺い、ペットのお世話をしています。ご飯や散歩だけでなく、その子に合わせたケアで大切な日常や 1 日を支えます。

Q 大切にしていることは？

「その子やその家庭に合わせたオーダーメイドのお世話」です。ペットの性格や健康状態、生活環境は 1 匹 1 匹違います。留守番中のペットにとって、本当に安心できる時間を創り出すことを大切にしています。

Q この仕事のやりがいはいは？

「ありがとう」と言ってもらえることです。また、人見知りのペットが徐々に慣れてくれた時に、やっていてよかったと思います。



ペットシッター
飼育サポート ManMal 代表
黒岩 真弥 さん



「ものづくり企業×ミニ四駆 “かかみがはら GP”」出場

いちし きよたか
市橋 清貴 さん

関市在住の 39 歳。休日は友人とバイクでツーリングに行ったり、小学生サッカーのコーチをしたりしています。

金型からボディを製作した、こだわりのミニ四駆マシン

今年は 9 月 26 日に開催される、「ものづくり企業×ミニ四駆 “かかみがはら GP”」。市内のものづくり企業の、技術や魅力を地域の方に知ってもらうことを目的に、企業対抗レースや、「デザイン賞」の来場者投票などを行っています。

金属団地で金属プレス加工などを行っている「株式会社 HIGUCHI」は、昨年に続いて出場。経営企画部兼技術部の市橋清貴さんが、昨年に続き、チームを牽引します。「このイベントを知った時、懐かしい気持ちになりました。同世代の社員で、話が盛り上がったため、出場を決めました」と笑顔を見せました。

同社は昨年、特別賞「クウ・リキ賞」を受賞。市橋さんは、「自社の技

術を生かし、金型からボディ製作した部分が評価されたと思います」と振り返りました。

昨年の企業対抗レースでは、コースアウトしてしまい、完走できませんでした。その原因は、「勝つことにこだわり、スピードを意識しすぎたこと」と、分析する市橋さん。「スピードの上だった後のコーナーなどで、ブレーキがかかるように制御する予定です。レースを完走できるマシンにします」と、意気込んでいます。

さらに今回、市橋さんは「デザイン賞」受賞も目指します。岐南工業高校と連携し、生徒と協力してマシンのデザインを考えました。高校生の意見も取り入れたオリジナルマシンで、来場者の心をつかみます。

